

対象年度		令和 4年度		総合計画実施計画策定及び行政評価シート									
事務事業名		処理場建設改良事業						予算事業名		－			
予 算 科 目		会計	XX	款	項	目	事業	要求区分	根拠法令	下水道法			
				XX	XX	XX	XXXX	経常経費					
総合計画体系		住みたい・住み続けたい 安全・快適な都市を目指そう						事業の区分		主要事業			
		地球環境にやさしいまちづくり											
		生活排水の適正な処理						担当課係等		下水道課 工務係			
事業期間		継続 (年度～ 年度)											
【めざす姿（意図・どのような状態になるのか）】							【事業開始のきっかけや他市の状況など】						
浄化センターの計画的な施設設備更新による安定かつ適正な運転							H18に改築更新10ヵ年計画を策定、H23に長寿命化計画を策定し改築更新を行ってきた。今後はR2策定したストックマネジメント計画に基づき改築更新を実施していく。						
【手段（事業内容・どのようなことを行うのか）】							【対象（だれに対して・何に対して行うのか）】						
汚水の適正処理の推進及び効率化のために、R2策定を行ったストックマネジメント（処理場、ポンプ場、管渠を総合的に管理）計画に基づき機械・施設の改築を行う。							下水浄化センター等						
【事業をとりまく環境の変化】							昭和53年の供用開始から40年以上経過し、施設の老朽化が著しくなっている。						
【令和 4年度 事業内容】				【令和 5年度 事業内容】				【令和 6年度 事業内容】					
下水浄化センター改築更新工事 （2カ年） ・処理場汚水ポンプ設備工事 ・田村内・観音・中ポンプ場電気設備工事 （※委託先 日本下水道事業団）				下水浄化センター改築更新工事 （2カ年） ・処理場汚水ポンプ設備工事 ・田村内・観音・中ポンプ場電気設備工事 （※委託先 日本下水道事業団）				下水浄化センター改築更新工事 ・自家発電設備工事（2カ年） ・自家発電棟工事（1カ年） ・直流電源中央監工事（2カ年） （※委託先 日本下水道事業団）					
■事業費													
				R02年度		R03年度							
財 源 内 訳	国	庫	支	出	金	21,000	25,500						
	県		支	出	金	0	0						
	地		方		債	0	17,500						
	そ		の		他	21,000	8,000						
	一		般	財	源	0	0						
歳 入 計 (千 円)						42,000	51,000						
歳 出 内 訳	節 (番 号 + 名 称)					金額 (千円)	金額 (千円)						
	12 委託料					42,000	51,000						
歳 出 計 (千 円) (A)						42,000	51,000						
伸 び 率 (%)							21.42						
備 考													

令和 2年度行政評価シート

■指標

種類	指 標 名	単 位		R02年度	R03年度	R04年度
活動 指標			目標	0.00	0.00	0.00
			実績	0.00	0.00	0.00
			目標	0.00	0.00	0.00
			実績	0.00	0.00	0.00
成果 指標	汚水処理量（日平均）	立米/日	目標	13,414.00	13,414.00	13,414.00
			実績	12,446.00	0.00	0.00
			目標	0.00	0.00	0.00
			実績	0.00	0.00	0.00

■事業評価

必要性	事業の必要性	A 必要性は高い	施設の老朽化により、ますます必要性は高くなっている。
妥当性	実施主体の妥当性	A 妥当である	
	手段の妥当性	B どちらとも言えない	長寿命化計画及び耐震計画のスケジュールに基づき効率的に実施している。
効率性	コストの効率性・人員効率	A 改善の余地はない	
公平性	受益者の偏り	A 偏りは見られない	
有効性	成果向上の余地	A 上がっている	概ね目標水準に達している。
進捗度	事業の進捗	A 順調である	計画どおり順調に進んでいる。
総合評価 上記評価を踏まえて事業全体について評価し、問題点・課題等を指摘してください			
浄化センターの老朽化に対応するため、長寿命化計画及び耐震事業計画に基づき計画的に設備の改築更新を進めることができた。			
対応策提言等 この事業を今後どのように改善・改革をしていきますか			
令和2年に策定したストックマネジメント計画に基づき、国庫補助金を活用して、施設の状況を常に把握しながら、効率的に改築更新を行っていく。			

■方向性

1次評価（1次評価者として判断した今後の事務事業の方向性（改革・改善策）） ☐ 拡充（人・モノ・カネ等の拡充） ☒ 改善改革しながら継続 ☐ 現状のまま継続（改善・改革なし） ☐ 統合・新規事業への展開 ☐ 縮小 ☐ 休止 ☐ 廃止・終了 ☐ 予定どおりの要求 ☐ 一部改善の上要求 ☐ 今回は見送り ☐ その他の処置	
方向性の具体的内容 下水浄化センターは、供用開始から40年以上が経過し、主要部分の老朽化や機器等の劣化が進んでいる。今後も公共用水域の水質保全を図るため、処理機能を維持することは必要不可欠であり、専門性に優れている日本下水道事業団を活用することにより、コスト削減・成果向上を図るとともに、計画的な事業継続が必要である。	
2次評価（2次評価者として判断した今後の事務事業の方向性（改革・改善策）） ☐ 拡充（人・モノ・カネ等の拡充） ☐ 改善改革しながら継続 ☐ 現状のまま継続（改善・改革なし） ☐ 統合・新規事業への展開 ☐ 縮小 ☐ 休止 ☐ 廃止・終了 ☐ 予定どおりの要求 ☐ 一部改善の上要求 ☐ 今回は見送り ☐ その他の処置	
企画調整会議の意見・考え方（1次評価者と同じ場合も記入） 上記評価のとおり。	